

手賀沼通信(第303号)

Eメール: nittay@jcom.home.ne.jp
http://jfn.josuikai.net/semi/koyukai

http://ynitta.cocolog-nifty.com/blog/
http://tegatu2.web.fc2.com

新田良昭

昨年12月号に続く「手賀沼通信ブログ抜粋ーコロナ特集その9」です。

5月8日に新型コロナが感染法上の「2類相当」から「5類」に引き下げられました。そのため今回が「コロナ特集」の最後となると思います。

ここまで長く続くとは思いませんでした。

手賀沼通信ブログ抜粋ーコロナ特集その9

中国、ゼロコロナ政策を緩める(No. 1662)(令和4年12月8日)

2022年12月6日、中国共産党の政治局会議が開かれ、新型コロナウイルス感染の抑止優先で堅持してきた「ゼロコロナ」政策を緩和に向かわせる方針が出されました。

全国に広がった抗議行動の沈静化を図り、感染対策と経済社会の発展の両立に転じる軌道修正です。

10項目からなる緩和改善策が発表されました。主なポイントは次の通りです。

- ・大規模なPCR検査は行わず、施設の入りには原則陰性証明を求めない
- ・無症状および軽症の感染者は自宅隔離も可
- ・高リスク地域以外の人々の移動を制限してはならない
- ・マンションの入り口などの封鎖は禁じる。

中国での1日あたりの感染者はゼロコロナ政策のため永らくの間百人台と千人台をキープしていましたが、11月10日に約1万5千人を超えてから、11月30日には約7万1千人となり、その後も3万人越えを5日間記録しています。感染者の多い日本や韓国は別として、これはアメリカに次ぐ数字と言えます。

私見ですが、これはゼロコロナ政策が一部破綻をきたしていると言ってもいいのではないかと思います。厳しいだけでは感染は防げないのではないのでしょうか。

でも習近平がどう考えているかはわかりません。読売新聞では次のように書いていました。

「ただ、ゼロコロナ政策は、習氏自身が10月の党大会で『堅持』を強行している。国内の感染状況が高止まりしている中、政策そのものを撤回するかどうかについては、今後の情勢を見極めていくものとみられる。」

コロナの日本の感染者の累計が3千万人を超え、死亡者の累計が6万人を超えた(No. 1671)(令和5年1月9日)

2023年1月8日現在のコロナの日本の現状は

- ・感染者の累計 約3051万人
 - ・死亡者の累計 6万206人
- となっています。

感染者は1月6日に3千万人を超えました。世界第6位です。

死亡者は1月8日に6万人を超えました。1月5日の1日あたりの死亡者498人は過去最多となっています。死亡者の累計は世界第16位です。

東京都の感染者の累計は元日に400万人を超え、1月8日現在約410万人です。東京都の死亡者の累計は1月8日現在6997人なので9日には7000人を超えることは間違いないでしょう。

いまが第8波のピークなのかもしれませんが、日本での規制がなくなり、海外からの渡航者もほぼ自由となっているので、これからどこまで増えるかわからないとも報道されています。

特に感染の拡大してると言われる中国では、この1月にゼロコロナ政策が中止となり海外旅行もほぼ自由となりました。日本では中国からの渡航者には受け入れ空港を制限したり、72時間以内の陰性証明を要求していますが、果たしてそれで防げるのか不安が残ります。

新型コロナの扱いが今春から「5類」になる

(NO. 1675) (令和5年1月21日)

2023年1月20日、岸田首相は新型コロナウイルスの感染法上の分類を、今春現在の「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げる方針を表明しました。

コロナの扱いは次のように変わります。

現在 今春以降

- ・分類 2類相当 5類
- ・感染者の自宅待機 あり なし
- ・入院勧告 できる できない
- ・行動制限 できる できない
- ・感染者の把握 全数 定点
- ・対応医療機関 指定の医療機関 一般医療機関
- ・医療費窓口支払い 全額公費 自己負担も検討
- ・ワクチン接種 全額公費 公費負担は高齢者など
- ・屋内でのマスク 原則着用 不要な場面を拡大
引き下げる理由はウイルスの病原性（重症度）が低下しているなどから判断したとのことです。

しかし第7波と比較してみると

1日の最大感染者数 1日の最大死亡者数

- ・第7波 263,442 (2022/8/19) 343 (8/23)
 - ・第8波 246,510 (2023/1/6) 523 (1/13)
- となっています。確かに感染者は第8波のほうが少ないですが、死亡者は逆に増えています。第8波がいつ収まるか不明だとしたら重症度が低下していると判断していいか疑問です。

1月21日の読売新聞社説には「移行の目的を明確にすべきだ」として次のように書いています。「新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを見直すことで、どのような利点があるのか。政府はこれまでの考え方を転換する狙いを国民に分かりやすく示すべきだ。(中略)

第8波の渦中にある今、高齢者を中心とした死者数の急増が問題になっている。受け入れ先が見つからず、救急搬送が困難な事例も過去最多を更新し続けており、逼迫ぶりは深刻である。5類にしたとたん、感染がさらに広がって死者数の増加に拍車がかかることがないよう、混乱のない移行の道筋を描いてほしい。(中略)

いずれコロナの法的位置づけを変更する必要があるにしても、移行に当たっては、実態と照らし合わせて慎重に進めるべきだ。」

コロナに関して3月13日からマスク着用が緩和される (NO. 1681) (令和5年2月12日)

2023年2月10日、政府は新型コロナウイルス対策のマスク着用に関して新しい考え方を決定しました。3月13日から適用されます。次の通りです。

基本

- ・着用は個人の判断にゆだねる

着用を推奨

- ・医療機関の受診時
- ・高齢者の入院とか生活者などが多い医療機関や高齢者施設の従事者、訪問者
- ・混雑した電車やバスに乗るとき

着用が効果的

- ・流行期に、高齢者などが混雑した場所に行くとき

着用する

- ・有症状者、陽性者、同居家族が陽性の人が病院などで外出するとき

学校

- ・着用を求めないことが基本（4月1日から）
- ・卒業式は日程にかかわらず「着用せず出席」が基本

保育園、認定こども園

- ・着用は求めない

企業内やサービス業界

- ・事業者が利用者や従業員に着用を求めることは許容

ちょっとややこしい気はしますがまずは妥当な判断でしょう。やっと欧米並みになった感じですか。

私は持病持ちの高齢者なので、買い物や病院や公共交通機関などでは着用しようと思っています。

コロナの日本国内の1日あたりの感染者が1万人を下回り、死亡者が100人を下回った (NO. 1682) (令和5年2月14日)

2023年2月13日、新型コロナの1日あたりの感染者が9370人となり、昨年6月27日以来約7か月半ぶりに1万人を下回りました。

また1日あたりの死亡者のほうも、2月12日に88人となって11月27日以来の2桁の数字

になりました。こちらは2か月半ぶりです。

ただ感染者は過去の統計から休日明けは少なくなっていますので、本当に1万人を割るのはちょっと先のこともかもしれません。新聞の休刊日に当たったので、死亡者数が2桁になったのは危うく見逃すところでした。

感染者も死亡者も減少していることは間違いありませんが、感染者の累計は約3299万で世界第6位、死亡者は7万824人で世界第15位となっています。

人口当たりの感染者の割合は日本は約26%です。アメリカ約31%、イギリス約36%、イタリア約42%、フランスと韓国約60%などです。感染者の割合が低いのはいいことなのですが、逆に言えばコロナの抗体を持っている人が少ないこととなります。

国立感染症研究所の脇田隆宇所長によれば「日本の抗体保有率は欧米より低い。今後感染対策を安易にどんどん緩和していけば、日本ではまだ感染が広がりやすく、死者の増加につながる恐れがある」とのことです。

世界のコロナ統計が読売新聞に掲載されなくなった (NO. 1690) (令和5年3月12日)

2023年3月12日、いつものようにエクセルで集計しているコロナ統計に数字を入れようとして読売新聞の国際面を探したところ統計が出ていません。

下のほうに小さく「おことわり」として「世界のコロナの感染状況の掲載は終了しました。ジョンズ・ホプキンス大が集計の終了を明らかにしたためです」と出ていました。

コロナの集計は、中国が1月13日から数字の発表をやめており、台湾も2月24日からやめました。イギリス、イタリア、スペインは週1回しか発表していません。毎日必ず発表しているのは、日本とアメリカと韓国とインドくらいです。

もともと私の集計は発表されていたすべての国をカバーしているわけではなく抜けているほうが多くなっていました。ジョンズ・ホプキンス大がやめたということは、統計を取る意味が薄らいできているのかもしれませんが。

おそらく日本も5月の大型連休明けに5類にな

った後は、コロナの統計はなくなるのでしょうか。とりあえずそれまでは日本の統計は見守っていくつもりです。

コロナの「5類移行」1か月前の現状 (NO. 1699) (令和5年4月9日)

新型コロナの感染法上の分類の移行が5月8日と決まっています。そこで1か月前である4月8日の現状を調べてみました。

まず日本国内の1日あたりの感染者と死亡者の数を1週間追っかけて、その1週間前の同じ曜日の数字との比較を出してみました。

日	感染者		死亡者	
	人数	増減	人数	増減
・4/8	8484	+1058	16	0
・4/7	8300	+1555	20	-7
・4/6	8580	+1401	29	-13
・4/5	9520	+3274	25	-10
・4/4	9701	+1330	24	-19
・4/3	3110	+335	16	-10
・4/2	6262	+86	11	-2

1週間の1日あたりの死亡者は減少していますが、感染者は7日とも増加しています。感染者数はしばらく減少していたのになぜか増加に転じたのです。

今の世の中、マスク着用は個人の判断にまかされています。お花見や相撲、野球、サッカー、各種イベントなどの参加や応援は肩を寄せ合って大声を出しています。飲食店の営業もコロナ以前に戻りました。クリア板で仕切っているのは医療機関やスーパーなどに限られています。

感染者数の増加を見ると1か月後の5類への移行が不安になってきたと感じている人も少なくないのではないのでしょうか。

新型コロナ5類に移行、3年4か月間のコロナとの戦いが終わった (NO. 1708) (令和5年5月9日)

2023年5月4日、世界保健機関 (WHO) テドロス事務局長は新型コロナウイルスの「国際的な公衆衛生上の緊急事態」を解除すると発表しました。

そして日本でも2023年5月8日、ゴールデ

ンウィーク終了とともに、新型コロナウイルス感染症の法律上の分類「2類相当」が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられました。

2020年1月15日に日本国内で初めて感染者が確認されて以来、3年4か月にわたる新型コロナウイルスとの戦いが続きましたが、これで一応平時の体制に移行します。コロナがなくなったわけではありませんが、一応戦いは終了したことになります。

2類相当と5類の違いは次のようになります。

	<u>2類相当</u>	<u>5類</u>
・感染者らの自宅待機	あり	なし
・入院勧告	指示できる	できない
・感染者数	全数把握	定点把握
・医療体制	限られた医療機関	幅広い医療機関
・医療費	全額公費負担	一部公費負担
・感染対策	行政が様々な要請	個人の判断
・ワクチン	公費負担	2023年度公費負担

私は読売新聞に発表される国内と海外のコロナの感染者と死亡者の統計をエクセルで作成した表に書き写し日ごとの数字を出してきました。2020年3月31日から毎日の日課となっていました。海外の数字は途中でジョンズ・ホプキンス大学が発表をやめたため出せなくなりましたが、日本国内は2023年5月9日まで続きました。エクセルの行数は1134行になっていました。その仕事も終わりました。

5月9日発表の最後の数字です。(単位：人)

	<u>日本</u>	<u>東京</u>
・感染者累計	33,830,420	4,386,904
・5月8日の感染者	9,401	1,331
・死亡者累計	74,725	8,126
・5月8日の死亡者	33	2

コロナは感染の増減を繰り返しながら8回のピークがありました。

第1波から第8波までを振り返ります。ピーク時の年月日と感染者数です。感染者数は日本国内の都道府県の感染者数の合計で空港検疫などその他の数値は含んでいません。

・第1波	2020年4月11日	653人
・第2波	2020年8月7日	1,596人
・第3波	2021年1月8日	7,860人
・第4波	2021年5月8日	7,234人
・第5波	2021年8月20日	25,876人
・第6波	2022年2月5日	100,982人

- ・第7波 2022年8月18日 255,453人
- ・第8波 2023年1月6日 246,510人

そして今も新規感染者はやや増加傾向にあります。第9波が来るという専門家もいます。ただ5類に移行したため毎日の数字が新聞に載ることはなくなりました。第9波が来た場合、専門家の指摘がなければわかりません。

私はコロナが日本に入って来始めた2020年2月12日に1回目のコロナのブログを書きました。それから何かあるたびにコロナのブログを続けて、今回で113回目となりました。大げさに言えばコロナという1つの事件の歴史の記録です。

それを毎月出している手賀沼通信に「手賀沼通信ブログ抜粋ーコロナ特集」として時々載せました。

	<u>全文</u> <u>タイトルのみ</u>	
・その1 (2020年12月)	8回分	3回分
・その2 (2021年2月)	6	6
・その3 (2021年4月)	8	6
・その4 (2021年6月)	8	4
・その5 (2021年9月)	8	4
・その6 (2021年12月)	10	1
・その7 (2022年5月)	10	2
・その8 (2022年12月)	10	6
・その9 (2023年6月)	8	5

今後もコロナについてのブログは書き続けるつもりです。ただ手賀沼通信に特集として載せることはないでしょう。そう願っています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

この期間にコロナに関する下記のブログも書いています。

- ・コロナの日本国内の感染者の累計が2500万人を超え、死者の累計が5万人を超えた(令和4年12月3日)
- ・コロナの日本の感染者の累計が韓国を抜いて世界第6位となる(12月30日)
- ・コロナの5類への移行が5月8日に決まった(令和5年1月28日)
- ・3月13日からコロナ対策のマスクの着用が個人判断となった(3月14日)
- ・コロナの日本国内の1日の死亡者の数が約9か月半ぶりに1桁となった(NO. 1702)(4月16日)